



連携団体

富谷市、大和町、大郷町、大衡村

(1) 取組の背景、経緯

これまで黒川圏広域行政推進協議会(構成市町村:富谷市、大和町、大郷町、大衡村)では、広域での住民バスの連携について議論がなされてきたが、構想は抱きつつも、具体的な運行ルートや住民バス同士の時刻調整が難しく、具体的検討までには至っていなかった。
そのため、本委託事業により黒川圏域の地域の将来像を明らかにするとともに、具体的な路線再編案などを協議会の中で提示し、自治体間での意見交換を経て具体的なバス路線再編の方針を定めていくこととした。

(1) 圏域における地域の現状把握及び課題の整理

課題と方向性の整理

富谷市以外の町村において高齢化率35~40%以上の分布が多く、病院が集積する富谷市、大和町への高齢者の通院を支援する広域交通が必要。

富谷高校、黒川高校があるため、富谷市⇄大和町の通学需要が多くなっている。ただし、富谷市⇄大郷町については、現在通学流動は少なくなっているが、通学に利用できるバス路線が無いため需要に結びついていない可能性があり、検討が必要。通勤需要では富谷市⇄大和町、富谷市⇄大衡村、大和町⇄大衡村、大和町⇄大郷町、富谷市⇄利府町間の需要がある。

一方で黒川圏域の各市町村は通勤通学時の交通手段として、自家用車への依存度が高く、通勤・通学時に利用できる広域交通が必要。

圏域内の大規模商業施設やスーパーは富谷市、大和町に集積しており、隣接する利府町も含めて、買い物移動を支援する広域交通が必要。

(2) 圏域における広域的なバス路線再編の検討

短期施策案

- ・大和町バスターミナルを拠点とした住民バスの結節(時刻調整・増便)
※各圏域を運行する既存のデマンド交通活用案も検討

長期施策案

- ・市町村運営での新規路線運行(大郷町⇄大和町⇄富谷市)
- ・市町村運営での新規路線運行(大衡村⇄大和町⇄富谷市⇄利府町)
- ・既存路線バス事業者の路線延伸 など

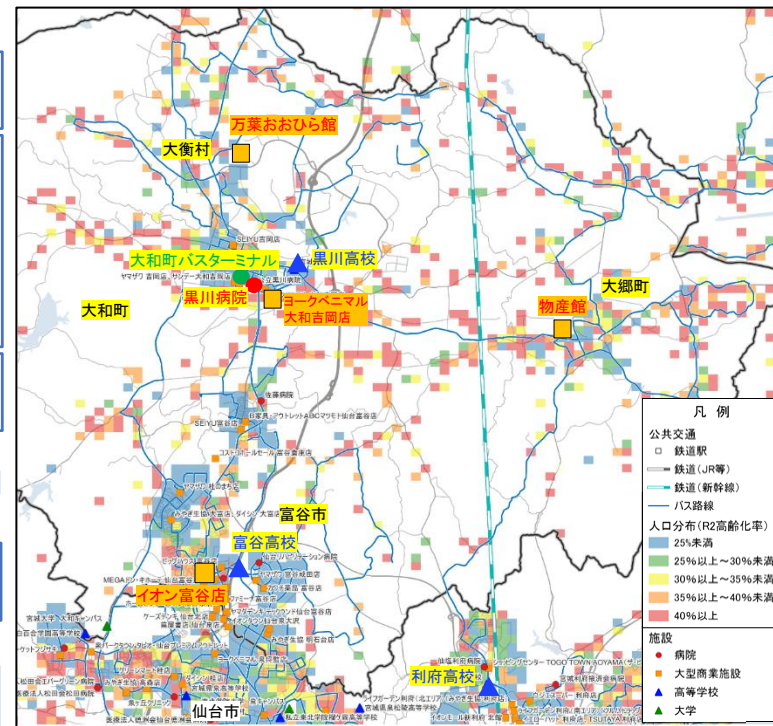


図 黒川圏域の高齢化率及び施設分布状況

(3) 取組の特徴・ポイント

- ・広域の路線再編に当たっては、時間や費用なども考慮し、段階的に進めていくこととして、短期・長期に分けて施策の検討を行った。
- ・施策の検討や合意形成については、連携団体すべてで構成されている黒川圏広域行政推進協議会において行うことにより、比較的円滑に進めることが可能。
- ・既存路線バス事業者を含む、どの関係機関も恩恵を受けられるような施策でなければ、合意形成は困難である。
- ・新規路線については、既存路線バス事業者との競合路線が発生するため、慎重に議論を重ねて検討を行う必要がある。

(4) 今後の展開

- ・令和5年度には黒川圏広域行政推進協議会の中で検討案の具体化を図り、令和6年度以降に短期施策、令和7年度以降に長期施策の実現を目指す。
- ・実現に向けては連携自治体に加え、既存路線バス事業者と継続的な議論および合意形成が必要である。